

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： 文系学生のためのSPI3完全攻略問題集、完全攻略高校生の基礎数学トレーニング)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 中学から高校数学までの基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的に考察する能力を培う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学 I の内容を中心に、展開や因数分解、方程式などの基礎的な計算技能を身に付けるようにする。	数や式を的に応じて適切に変形したりする力、特徴を表、式に関連付けて考察する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1. 整数 【知識及び技能】 整数の性質や四則計算の方法を理解し、正負の数や累乗を含む計算を正確に行うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 計算の順序や法則に着目し、効率的な計算方法を考察し説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項を活用しながら、主体的に計算問題に取り組もうとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・整数の計算規則を理解している。 ・四則計算や累乗計算を正しく行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・計算方法を工夫して考えることができる。 ・計算過程を論理的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・粘り強く問題解決に取り組んでいる。 ・既習事項との関連を考えながら学習している。	○	○	○	2
2. 割合・比 【知識及び技能】 割合や比の意味を理解し、百分率や歩合を用いて数量関係を表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 数量の関係を整理し、割合や比を活用して問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な事象と関連付けながら主体的に学習しようとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・割合や比の求め方を理解している。 ・数量関係を式や比で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・問題場面を整理し適切に立式できる。 ・割合の考え方を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活場面に活用しようとしている。 ・自ら進んで問題に取り組んでいる。	○	○	○	3
3. 損益算 【知識及び技能】 原価・定価・売価・利益の関係を理解し、利益や損失、利益率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数量の関係を整理し、割合を用いて適切に立式し、問題を解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活や商業活動との関わりを意識しながら、主体的に学習に取り組もうとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・原価，定価，売価，利益の意味を理解している。 ・利益や損失，利益率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・数量関係を整理して立式できる。 ・割合を活用して考え方を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実生活と関連付けて考えようとしている。 ・粘り強く問題解決に取り組んでいる。	○	○	○	2
4. 仕事算 【知識及び技能】 仕事量と時間の関係を理解し、仕事算の問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数量関係を整理し、適切に式を立てて問題解決することができる。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・仕事算の基本的な考え方を理解している。 ・数量を式で表すことができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文から必要な情報を整理できる。 ・立式の根拠を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】				

1 学 期	【字びに向かう力、人間性等】 図や表を活用しながら主体的に考察しようとしている。		・複数の考え方を試そうとしている。 ・粘り強く課題に取り組んでいる。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1
	5. 濃度算 【知識及び技能】 濃度の意味を理解し、食塩水の数量関係を用いて計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 食塩・水・全体量の関係を整理し、適切に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 身近な場面と関連付けながら主体的に学習している。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・濃度の求め方を理解している。 ・濃度に関する計算を行うことができる。 【思考・判断・表現】 ・数量関係を整理して考察できる。 ・問題状況を数学的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実生活との関連を考えようとしている。 ・積極的に問題解決に取り組んでいる。	○	○	○	2
	6. 速さ 【知識及び技能】 速さ・時間・道のりの関係を理解し、公式を用いて計算できる。 【思考力、判断力、表現力等】 数量関係を図や表で整理し、適切に問題解決することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 既習事項を活用しながら主体的に考察しようとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・速さの公式を理解している。 ・数量を正しく求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図や表を用いて整理できる。 ・考え方を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・見通しをもって問題解決している。 ・他者の考えを取り入れようとしている。	○	○	○	3
	7. 場合の数 【知識及び技能】 樹形図や表を用いて場合の数を求める方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漏れや重複がないよう整理しながら論理的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な数え方を主体的に考えようとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・場合の数を求める方法を理解している。 ・樹形図や表を適切に用いることができる。 【思考・判断・表現】 ・漏れや重複を判断できる。 ・数え方を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・効率的な方法を考えようとしている。 ・積極的に学習に参加している。	○	○	○	2
	8. 確率 【知識及び技能】 確率の意味を理解し、基本的な確率を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 場合の数と関連付けながら、起こりやすさを数量的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 試行結果を振り返りながら主体的に考察しようとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・確率の基本的な考え方を理解している。 ・確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・場合の数を活用して考察できる。 ・結果を適切に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・試行や実験に意欲的に取り組んでいる。 ・数学的に考察しようとしている。	○	○	○	2
	9. 命題 【知識及び技能】 命題や条件の意味を理解し、真偽を判断することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 条件や論理の関係を整理し、筋道を立てて考察することができる。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・命題や条件の意味を理解している。 ・真偽を判断できる。 【思考・判断・表現】 ・条件の関係を整理できる。 ・論理的に説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】				

	【字ひに向かう力、人間性等】 論理的に考えることのよさを実感しながら主体的に学習している。			○	○	○	2
10. 集合	【知識及び技能】 集合の表し方や記号を理解し、共通部分や和集合を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図などを用いて集合の関係を整理し、論理的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 図を活用しながら主体的に考えようとしている。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ・集合の表し方を理解している。 ・共通部分や和集合を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・集合の関係を整理できる。 ・図を用いて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図を活用して考察しようとしている。 ・主体的に問題に取り組んでいる。	○	○	○	2
定期考査				○	○		1
A第1章 数と式							
1. 多項式の加法と減法	【知識及び技能】 基礎的な計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 代入する前に、式を簡単にするなど工夫して計算できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 文字式の加法減法について、ミスを改善して工夫しながら取り組む態度を養う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○単項式や多項式、同類項、次数など式に関する用語を理解している。 ○多項式の加法、減法の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ○多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとしている。	○	○	○	2
2. 多項式の乗法	【知識及び技能】 指数法則を理解し基礎的な計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 式を1つの文字におき換えることによって、簡略化して展開できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 乗法の計算の仕方について関心を持ち、考察しようとする態度を養う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○指数法則を理解し、多項式の乗法の計算ができる。 ○展開の公式を利用できる。 ○式の展開は分配法則を用いると必ずできることを理解している。 【思考・判断・表現】 ○式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにすることができる。 ○式を1つの文字におき換えることによって、式の計算を簡略化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心をもち、考察しようとしている。	○	○	○	2
3. 因数分解	【知識及び技能】 公式を用いて基礎的な計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 式を、目的に応じて工夫し、適切に変形したりする力を培う。 【学びに向かう力、人間性等】 式の整理の仕方について関心を持ち、考察しようとする態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○因数分解の公式を利用できる。 ○因数分解を行うのに、文字のおき換えを利用することができる。 【思考・判断・表現】 ○複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解をすることができる。 ○式の形の特徴に着目して変形し、因数分解の公式が適用できるようにすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとしている。 ○展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとしている。	○	○	○	2
第2節 実数							
4. 実数	【知識及び技能】 扱ってきた数を実数としてまとめ、数	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○分数を循環小数で表すことができる。 ○絶対値の意味と記号表示を理解している。 【思考・判断・表現】				

2 学 期	の体系についての理解を深める。簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実数が、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする態度を身につける。		○実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線を関係づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとしている。	○	○	○	2
	5. 根号を含む式の計算 【知識及び技能】 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算、分母の有理化ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 根号を含む式について、平方根の意味や性質から計算の仕方を理解しようとする態度を養う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○平方根の意味、性質を理解している。 ○根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 【思考・判断・表現】 ○根号を含む式の計算について、一般化して考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○根号を含む式について、平方根の意味や性質から計算の仕方を理解しようとしている。	○	○	○	2
	第3節 1次不等式 6. 不等式の性質 【知識及び技能】 不等号の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 ○不等号の意味を理解し、数量の大小関係を式で表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○不等式の性質について、等式における性質と比較して、考察しようとしている。	○	○	○	2
	7. 1次不等式 【知識及び技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式・連立不等式を解くことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 $A < B < C$ を $A < B$ かつ $B < C$ として捉えることができ、不等式を解くことができるようにする。 身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察する態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 ○連立不等式の意味を理解し、連立1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ○$A < B < C$ を $A < B$ かつ $B < C$ として捉えることができ、不等式を解くことができる。 ○身近な問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとしている。	○	○	○	2
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1. 関数とグラフ 【知識及び技能】 関数$f(x)$表記を理解し、用いることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2つの変数の関係を関数式で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとする態度をを培う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○$y=f(x)$ や $f(a)$ の表記を理解し、用いることができる。 【思考・判断・表現】 ○2つの変数の関係を関数式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常生活に見られる関数の具体例を見つけて考察しようとしている。	○	○	○	2
	2. 2次関数のグラフ 【知識及び技能】 2次関数の表記から放物線の頂点と軸を求めることができるようにする。 2次関数の式を頂点がわかる形に変形(平方完成)することができるようにする。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○2次関数の表記から放物線の頂点と軸を求めることができる。 ○2次関数の式を頂点がわかる形に変形(平方完成)することができる。 【思考・判断・表現】 ○平方完成を利用して、2次関数のグラフの軸				

【思考力、判断力、表現力等】 平方完成を利用して、2次関数のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかくことができるようにする。 放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 一般の2次関数について、頂点、軸の式と放物線の平行移動について考察しようとする態度を身につける。		と頂点を調べ、グラフをかくことができる。 ○放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 ○一般の2次関数について、頂点、軸の式を考察しようとしている。 ○放物線の平行移動について考察しようとしている。	○	○	○	2
3. 2次関数の最大・最小 【知識及び技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し、求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができるようにする。 具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○2次関数が最大値または最小値をもつことを理解し最大値、最小値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 ○具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。	○	○	○	2
5. 2次方程式 【知識及び技能】 2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解する。 2次方程式において、判別式の符号と実数解の個数の関係を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を積極的に利用しようとする態度を養う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 ○2次方程式において、判別式の符号と実数解の個数の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ○2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。 ○1次の係数が$2b'$である2次方程式の解の公式を積極的に利用しようとする。	○	○	○	2
6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 【知識及び技能】 2次関数のグラフとx軸の共有点のx座標が求められるようにする。 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D=b^2-4ac$の符号から考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D=b^2-4ac$の符号から考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。	○	○	○	2
7. 2次不等式 【知識及び技能】 2次関数のグラフとx軸の共有点の座標と個数を求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させてグラフを利用して考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次不等式の解を、図を積極的に利用しようとする態度を培う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の座標が求められる。 ○2次関数のグラフとx軸の共有点の個数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察することができる。 ○2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○2次不等式を解くときに、図を積極的に利用しようとする。	○	○	○	2
第4章 図形と計量 第1節 三角比 1. 三角比 【知識及び技能】 直角三角形の辺の長さから正弦、余弦、正接を求めることができる。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○直角三角形の辺の長さから、正弦、余弦、正接を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角比の表から$\sin\theta$、$\cos\theta$、$\tan\theta$の値を				

弦、止接が求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の表の見方を理解する。 直角三角形の辺の長さを三角比で表す式から測量などの応用問題に利用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている態度を養う。		読み取ることができる。 ○直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとしている。	○	○	○	2
2. 三角比の相互関係 【知識及び技能】 三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比の相互関係を積極的に調べようとする態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 【思考・判断・表現】 ○三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角比の相互関係を調べようとしている。	○	○	○	4
2. 三角比の相互関係 【知識及び技能】 $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値を求めることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察し、値を求めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする態度を身につける。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○ $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察し、値を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとしている。	○	○	○	4
第2節 三角形への応用 4. 正弦定理 【知識及び技能】 正弦定理を用いて、外接円の半径が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さが求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 正弦定理を活用して問題を解決したりする力などを培う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○正弦定理を用いて、外接円の半径が求められる。 【思考・判断・表現】 ○正弦定理を用いて、三角形の辺の長さが求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○正弦定理を活用して問題を解決したりしようとする。	○	○	○	3
5. 余弦定理 【知識及び技能】 余弦定理を用いて、三角形の辺の長さが求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 余弦定理を用いて、三角形の角の大きさが求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 余弦定理を活用して問題を解決したりする力などを培う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○余弦定理を用いて、三角形の辺の長さが求められる。 【思考・判断・表現】 ○余弦定理を用いて、三角形の角の大きさが求められる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○余弦定理を活用して問題を解決したりしようとする。	○	○	○	3
7. 三角形の面積 【知識及び技能】 三角比を用いた三角形の面積を求める公式について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の面積を、決定条件である2辺とその間の角から求めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の内接円と面積の関係を導こうとする態度を養う。	・教材（問題集） ・小テストや追加の練習問題の演習も行う。	【知識・技能】 ○三角比を用いた三角形の面積を求める公式を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○三角形の面積を、決定条件である2辺とその間の角から求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。	○	○	○	3
定期考査			○	○		1
						合計
						70